

(別紙)

成果の説明書

(氏名)	岩崎 忠	(学部)	地域政策学部
1 重要事項			
(1) 研究業績			
・『自治体経営の新展開』(単著) 一藝社、2017年3月			
・「自治体の空き家対策の検証と今後の課題」『自治総研(通巻第459号)』地方自治総合研究所、2017年1月			
・「空家特別措置法施行後の自治体の空き家対策～公共政策からのアプローチ」『地域政策研究(第19巻2号)』高崎経済大学地域政策学会、2016年11月			
・「特集:憲法改正と地方自治、地方自治に関する憲法改正の論点～地方制度調査会、地方六団体等の議論を参考にして～」『地方自治職員研修(通巻第691号)』公職研、2016年10月			
・「自治体のごみ屋敷対策の現状と今後の課題」『ぐんま自治研ニュース(No.129)』群馬県地方自治研究センター、2016年11月			
・「Topics!自治体の空き家対策の検証と今後の行方」『地方自治職員研修(通巻第695号)』公職研、2017年2月			
・上毛新聞オピニオン(視点)への寄稿			
2016年4月21日「地方創生を担う自治体:政策法務能力の向上を」			
2016年6月26日「震災ガバナンス時代:自治体連携の深化を」			
2016年8月9日「公共施設マネジメント:情報共有で合意形成」			
2106年9月19日「自治体の長と議会の対立:住民の意思を大切に」			
(2) 研究活動			
・学会報告「自治体間連携における契約手法の課題と展望」日本地域政策学会第15回全国研究(大阪)大会政治行政分科会、関西大学高槻ミュージックキャンパス、2016年7月9日			
・学会報告「自治体の空き家対策の検証と今後の行方」日本自治学会第16回総会・研究会、山梨学院大学、2016年11月19日			
・学会研究会報告「空き家対策の現状と課題～「点」と「面」からのアプローチ」日本地域政策学会政治・行政部会研究会、2017年3月24日			
・高崎経済大学地域政策研究所(以下「地域科学研究所」)・研究プロジェクト「空家特別措置法施行後の空家対策に関する総合的研究」(2016年5月～2019年3月)の代表、研究プロジェクト公開研究会主催:3回の研究会(2016年7月30日米山秀隆氏、8月27日北村喜宣氏、9月3日西口元氏を外部講師として招聘し開催)			
・地域科学研究所公開講座「地方分権改革のこれまでと今後」、2016年11月17日			
・地域科学研究所主催、地域経営セミナー「これからの行政経営と地域づくり～地方分権的地域自治へのアプローチ」コメンテーター、2016年10月14日			
・第22回自治体法務合同研究会・春日井大会(2016年7月16日)シンポジウム・パネルディスカッション「コミュニティと自治体政策法務～まちづくりの取組における政策法務の視点」のコーディネーター			
・政策法務講演会「政策過程と政策法務～政策の立法・執行・評価の各段階における政策法務の活用～」静岡県経営管理部総務局法務文書課、2016年8月19日			
・日本地域政策学会第15回大阪大会(2016年7月10日、関西大学高槻ミュージックキャンパス、第4部会(地方行政・財政)のコメンテーター			
・「地方分権改革の成果と動向」愛知県企画局企画課地方分権グループへ助言指導			
2016年11月25日			

・日本地域政策学会理事・事務局次長として学会運営に貢献

・日本自治学会幹事として総会・研究会を運営

(3) 教育・社会貢献活動

・授業（学部：地方自治論、地域行政論、地方分権論、地方自治法／地方自治制度論、グループ研究、初年次ゼミ、演習Ⅰ、大学院：地域行政特論）

・ゼミナール活動（青森県田舎館村3回訪問、岩手県大槌町・釜石市震災復興状況調査）

・高崎経済大学地域政策学会理事、学内FD・SD委員会委員、広報委員会委員、過半数代表（職域代表）、大学院改革委員会委員

・大学院学位授与審査（副査）

・出前授業：長野西高校（2016年7月26日）

・三扇祭：地域政策学部ゼミナール協議会主催「プレゼンテーション大会」審査員

・ラジオ高崎「ラジオゼミナール」に出演

2016年5月21日「地方創生、今後の地域社会の果たすべき役割」

2016年5月28日「高崎経済大学岩崎忠ゼミナールゼミ生が語る、青森県田舎館村への提案！」

・上毛新聞取材協力

2016年4月3日号「群馬県内副市町村長～自分たちで人材育てて」、5月2日「18歳選挙：透ける政治への不満」、6月19日「主張「まちづくり月間」多様な価値観大事に」、9月24日「政務活動費執行率：有効性の検証」、12月15日「板倉町議会新庁舎建設一転可決～住民意向反映」、2017年2月22日「厚生年金加入求め決議～なり手不足要因は「年金廃止」」

・読売新聞取材協力

2017年3月11日「癒えぬ傷痕 復興問う学生（岩崎忠ゼミ、岩手県大槌町・釜石市視察）」

・群馬県、神奈川県、岐阜県、神奈川県市町村振興協会、宮城県市町村職員研修所、高崎市、相模原市（神奈川県）、流山市（千葉県）、名取市（宮城県）の研修講師として自治体職員の人材育成に貢献

・審議会等委員：群馬の未来創生懇談会検証部会部会長、群馬県行政不服審査会委員、群馬県自治紛争処理委員、群馬県Gターン就職促進研究会座長、群馬県住宅マスタープラン策定委員会委員、群馬県福祉医療制度在り方検討会委員、相模原市空家等対策協議会会長、相模原市行政不服審査会委員、相模原市情報公開・個人情報保護・公文書管理審査会委員、秦野市行財政調査会委員、愛川町総合計画審議会会長、愛川町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会委員長

2 その他の事項

3 次年度以降の計画・抱負

研究面では、引き続き、地方自治・行政学、政策法務に関する研究を深めたい。

教育面では、授業、演習を通じてしっかり教育をしていきたい。特に、大学院では初めて特論演習をもつので、院生の修士論文作成に向けた指導をしっかりしていきたい。

学内行政では、学内FD・SD委員会委員、環境委員会委員、競争的資金等不正防止委員会委員、大学院改革委員会委員、職域代表として大学運営に協力していきたい。

地域貢献活動としては、様々な自治体の審議会等を通じて、学識経験者として建設的な意見を述べるとともに、研修講師として自治体の人材育成に貢献していきたい。